

9月議会報告

コロナ禍のもと少人数数学級を 東部小存続の署名1570筆

9月3日に東部小教育後援会とPTAから東部小学校の存続を求める署名1570筆が市長に提出されました。砂田市議が「これをどう受け止めたか」と質問しました。

市長 「存続を願う地域の皆さんの気持ち」

【桜井市長】地域の皆さんの現時点での存続を願う気持ちと受け止めています。国が少人数数学級の提言をまとめる来年5月頃まで、小中学校再編計画の策定作業を延期した。

【砂田市議】統廃合すれば、35人以上学級が増える。小中学校統廃合の検討延期ではなく、学校統廃合をしない決断を。

【教育長】 現段階で統廃合しないと決断するのは適切ではない。

中学校部活の改革を

【砂田市議】部活動は子どもたちがたいへん楽しみにしている。できない部活があると、やりたいスポーツがある学校へ入学したりする子がいる。しかし、このために学校統廃合するのは筋違いで、小規模校がよいことは当然のことだ。

部活改革には責任ある指導者の配置とその処遇を明確にすべきだ。

インフルエンザ予防接種助成 今年度の臨時的措置で終わらせない

【砂田市議】インフルエンザ予防接種を無料にされたことは高く評価できる。この助成措置を今年度限りの臨時的な対策にしてはならない。

少なくともこれまで通り2千円助成は維持し、高校生までに拡充して頂きたい。市長に5百筆の署名が提出された。署名に込められた市民の強い願いをぜひとも受け止めて頂きたい。



教育長 「『部活動のあり方検討委員会』で 仕組みを検討する」

【教育長】 国では将来的には部活動を学校から地域へとの検討が進んでいる。

恒常的に練習も含めた合同部活動を実施するためには、種目毎にその実情に応じた適切な対応策の検討が必要である。令和3年度に関連団体、有識者で「部活動のあり方検討委員会」を立ち上げ、本市の実情に合った仕組みを検討していきたい。

桜井市長 先般署名簿をお持ちになって ひ2千円に戻していただけないかとの要望を 伺った。いろいろ思いはあるが、行政需要が多 種多様化しており、財 源は限られているの で、優先順位をつけて 財源措置をしなければ ならない。

コロナ感染の状況が続けばそれ相応に対応しなければならぬ。



署名を提出した新日本婦人の会小矢部支部の皆さん = 8月7日、市長応接室

気候非常事態宣言を

地球温暖化によって気候変動、豪雨災害が激増しています。国連をはじめ世界中で、産業革命の頃より気温上昇を1.5度以下に抑えないと大変なことになることと警告しています。

環境省が公表した「未来の天気予報」では、2100年に、1.5度の目標を達成できなかった場合、日本でもしばしば一番暑くなる熊谷の最高気温が

44.9度にもなり、金沢では42.4度です。豪雨、台風被害も心配されます。

「2050年までに二酸化炭素排出ゼロ」との取り組みは、もう待たなれません。ところがトランプ大統領はこれを無視し、日本政府も世界第5位の排出量にもかかわらず、石炭火力発電に固執しています。

【砂田市議】 この状況に危機感を持った国内の自治体が気候

非常事態宣言を発し、自治体を先頭に、市民、企業、各種団体と協力して、いつまでに二酸化炭素排出ゼロを実現する」と表明している。小矢部市もすべきではないか。

【民生部長】 全国で152自治体が表明し、県内では富山県魚津市、南砺市が表明している。本市としては、表明自治体の具体的な施策等を調査研究していきたい。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策 介護施設等で働く人にPCR検査を

【砂田市議】 新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制する一番のカナメが、無症状の感染者を発見し、保護、隔離することだといわれている。人のケアを仕事にしている介護施設、医療機関、学校、保育所などで働く人たちのPCR検査を定期的に実施してはどうか。

【民生部長】 定期的に検査すると、医療機関や検査機関に膨大な検査を強いることになる。また、検査費用に膨大な財源が必要となることなど、費用対効果の面から困難と考えている。

【民生部長】 市町村毎の検査数と陽性率についてはプライバシー保護の観点から取り扱いに注意が必要な情報で、現在公表されていない。県から現段階以上の情報の公表はないものと考えている。

請願

米価下落防止に国は責任を

「コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落を阻止してほしい」との請願が9月議会でも審議されましたが、保守系議員の反対で不採択となりました。砂田市議は「国が責任を持つて米価下落を食い止めるべきだ」と賛成討論をしました。

国に農家の実情と苦勞を伝えたくない

小矢部市議 保守系議員が反対

I議員は反対討論で「JAが米価下落対策に必死にがんばっている」、「だから国に意見書を出すことには反対」と述べました。農業者団体はがんばっているのに、国が何もしていないことこそ問題ではないのでしょうか。討論の冒頭で「野上農水大臣就任に期待する」と述べながら、国に直

接「農家の実情と苦勞」を伝えることに反対されたことに、驚きの声が寄せられています。

県議会 「国に米価下落対策を強く要望」

一方、富山県議会は最終日、「米価下落対策の意見書」を全会一致で採択し、「国会及び政府におかれては、(中略)さまざまな対策を講じて米の需給安定に取り組むよう強く要望」しました。